

日テレ×JTB 共同でキャリア教育プログラム開発 ～ドラマ教材で社会人を疑似体験～



日本テレビ放送網株式会社(代表取締役社長:大久保好男、以下日本テレビ)と、株式会社 JTB(代表取締役社長:高橋広行、以下 JTB)は、全国の中学校・高等学校・大学向けに、“自分らしく主体的に考え、仲間とともに協働して成果を出す力”を養う教育プログラム「CAS-DRP」(キャリアアクシスサポート・ドラマロールプレイ 以下 CAS—DRP)を共同で開発し、3月19日より販売します。

日本テレビは、テレビ番組制作のノウハウを活かし、慶應義塾大学大学院・前野隆司教授の理論をもとに、ドラマ映像を用いた、学校教育用アクティブ・ラーニング教材を開発し、2018年2月より提供しています。

一方、JTB は、修学旅行などの行事に合わせ、学習を支援するキャリア教育プログラムを提供することで、全国の中学校・高等学校の様々な課題解決に向けた取組みを行ってきました。

新・キャリア教育プログラム: CAS-DRP

◆プログラム内容

ドラマ映像を視聴しながら、主人公になりきって課題を解決するグループ・ディスカッション。4色のチップを使い、楽しみながら主体性・協調性を育むプログラムです。



◆ドラマ教材:例

『汐留テレビ 新人報道記者物語』

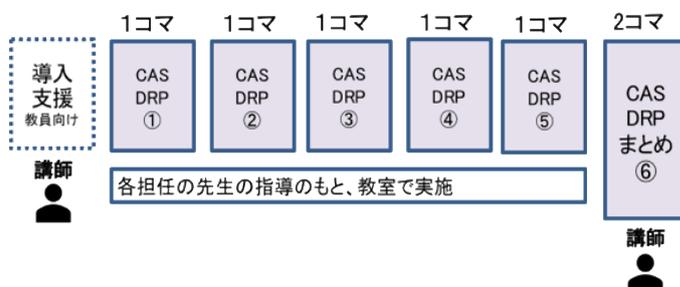
仕事とプライベート、働く意味などを問うストーリー。

『ゲームクリエイター白書』

ゲーム制作会社の新入社員が、仕事の責任や楽しさに気づいていく成長ストーリー。



◆プログラム実施案



【報道各位のお問い合わせ先】

日本テレビ広報部 TEL:03-6215-3090

JTB 広報室 TEL:03-5796-5833

【お客様のお問い合わせ先】

JTB キャリア教育事業室 TEL:03-5539-2903 メール:career-ed@jtb.com